

水産物の放射線量測定結果

女川町では、女川魚市場に水揚げされた水産物について、宮城県から支給された簡易測定器及び東北大学から提供された連続個別非破壊放射能システム等を使用し、放射線量の測定を実施しています。

平成26年10月1日から10月31日までの測定結果は、下記のとおりでした。

- ◎測定結果：全てにおいて、厚生労働省が定める一般食品の基準値 100 ベクレル/kgを下回りました。(検体全て測定下限値以下・不検出)
- ◎検体数： サンマ 97、イナダ 14、ゴマサバ 15、マサバ 1、シイラ 2、シマガツオ 2、ソーダガツオ 9、アジ 12、カンパチ 6、サケ 17、サワラ 5、チダイ 6、ヒラメ 9、ワカナ 16、スズキ 6、ワラサ 1、エゾアイナメ 5、コヤリ 4、マイカ 1、コサバ 1、イバラヒゲ 1、ポンタラ 1、マイワシ 4、セグロイワシ 6、ケガニ 1、タナゴ 1 (26種類 243検体)
- ◎測定機器： EMFジャパン(株) ガンマ線スペクトロメータ (EMF 211 型)
東北大学 連続個別非破壊放射能システム A01 型
東北大学 非破壊式食品放射能測定装置